

福岡市都心部における休日の回遊行動に関する研究 ～平成23年度実施アンケートの詳細分析～

福岡大学 辰巳 浩, 堤 香代子, 吉田 成美

■ 背景と目的

従来、福岡市都心部は天神地区が商業の中心、博多駅地区が業務の中心、そしてキャナルシティ博多が新たな商業核として位置づけられていた。



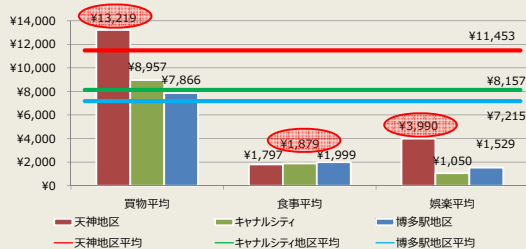
2011年3月3日 JR博多シティ開業
2011年3月12日 九州新幹線全線開通

博多駅地区に新しい大規模商業施設が誕生したことで、これまでの都市構造に変化が生じている。

本研究では、こうした状況を踏まえ、福岡市都心部における来街者の回遊行動とその意識を把握することを目的とする。

■ 昨年度の分析結果

● 地区別にみた消費金額



■ 研究概要

昨年度に行ったアンケート調査と単純集計結果をもとに、天神地区と博多駅地区について不足している分析とクロス集計を行い、来街者は何を求めて各地区を訪れるのか、性別や年齢で異なるのかといった来街者の行動パターンについて詳細に分析する。

各地区の特徴や強みを見つけ、共に発展していくための都心部のあり方を考える。



※キャナルシティ博多地区のサンプル数が少ないため、天神地区と博多駅地区の分析を行う。

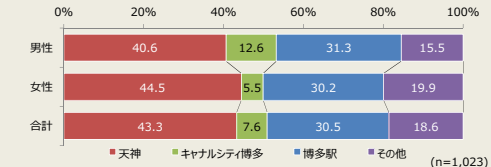
■ アンケート調査の概要

配布日時	2011年10月16日（日）10～18時
アンケート対象者	公共交通利用者
配布・回収方法	調査員による現地配布、郵送回収
配布場所	西鉄福岡駅 博多駅交通センター1階コンコース
配布枚数	西鉄福岡駅2,000部 博多駅交通センター1階コンコース2,000部
回収率	合計700部（17.5%） 西鉄福岡駅370部（18.5%） 博多駅交通センター1階コンコース330（16.5%）
調査項目	・個人属性 ・都心部への主な来街目的 ・一日の回遊行動について ・JR博多シティの開業による意識変化について ・キャナルシティ博多イーストビル開業について

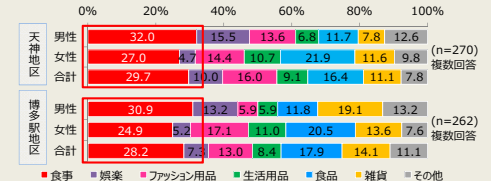
■ 本年度の詳細分析結果

※詳細分析内のサンプル数は、1人の被験者が複数地区を回遊した場合は、回遊地区をそれぞれにサンプルとみなし、延べ回遊箇所数とする。

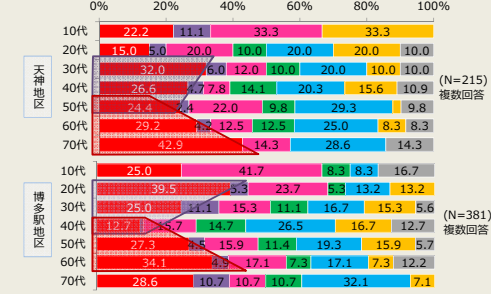
● 来街地区の割合



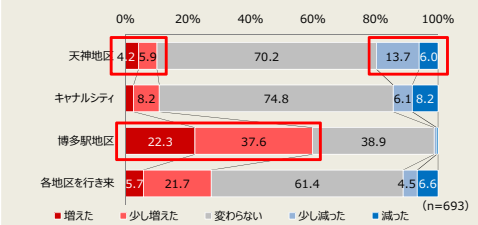
● 購入品目別分析（性別）



● 購入品目別分析（女性・年代別）

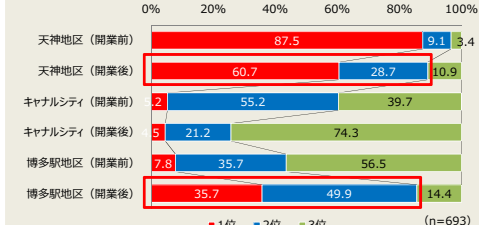


● 開業後の来街頻度変化



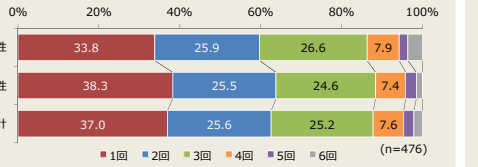
人々の来街行動が博多駅地区にシフトしていることがわかる。

● 開業前後の訪れたい希望順位

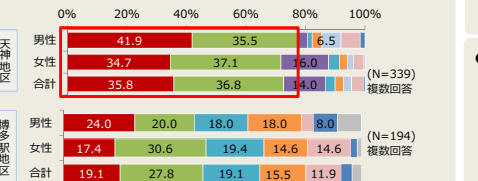


JR博多シティが開業したことによる
博多駅地区の魅力が向上していると考えられる。

● 回遊箇所数の分析



● 来街地区の割合（性別）



男性は規模の大きな場所を、女性は複数店舗のある場所を訪れる。

◆博多駅地区は百貨店とファッションビルで約4割、複合施設と生活雑貨の割合も高く、4種の店舗で約8割を占める。
◆男性は電気製品店の割合が女性に比べ高い
◆女性は総合スーパーを訪れる割合が高い

店舗が隣接していることが要因

■ まとめ

店舗種類	天神	博多駅
天神	百貨店・ファッションビルの地区内割合が高く、回遊の中心	
博多駅	百貨店・ファッションビル・複合施設・生活雑貨が隣接し、店舗がぎらける	
男女の比較	男性	女性
男性	食事を行う割合が高い	ファッションの割合が高い
女性	メジャーな店舗	細かな店舗を回る
天神で書籍・音楽関係	博多駅で電気製品店	
天神で商店街	博多駅で総合スーパー	

各地区が共に発展していくためには、各地区の特徴を生かし、回遊性を高めることが大事

分析で上がった問題点
回遊回数の少なさ
回遊地区の偏り
それを改善するために
地区間の移動が気軽にできる工夫

